

# 千年の森便り No.233

2023.3.26

ちば千年の森をつくる会

<http://toyofusajima.html.xdomain.jp/>

代表 福島成樹 編集 真鍋昌義

[sennennomori@hotmail.co.jp](mailto:sennennomori@hotmail.co.jp)

## 活動の記録

### 3月19日（日）快晴

今年度最後の定例活動日、前日の雨が上がり朝から気持ちの良い青空になりました。今年は暖かい日が続いているせいか、すでに木々が芽吹き始めていました。例年、3月と4月の活動日の間に開花するためなかなか花を見ることができないヒナスミレも、今回は花を見ることができてとてもラッキーでした。



青空に映えるマメザクラ



マメザクラの下で集合写真

今回は、春の陽気の中、ニホンジカ生息状況調査とナラ枯れによる枯死木（コナラ）の伐採、植物観察などを行い心地よい時間を過ごすことができました。

参加者は、秋元、伊藤、鶴沢、苅米、坂本、清水、成沢、福島の会員8名でした。

次回の定例活動日は4月16日（日）です。2023年度1回目の活動ということで定時総会を予定しています。会員の皆様のご参加をよろしくお願いいたします。（福島）

### 〇ニホンジカ生息状況調査

豊英島にはニホンジカが泳いで渡ってきますが、その生息状況を把握するため3か月に1回個体数調査を行っています。今回は、7人で7コースを分担して一斉に島内を踏査しニホンジカのカウントを行いました。今回の調査時間は、10:00から10:30でした。

結果は、ニホンジカの痕跡としてフンを確認しましたが、前回の12月の調査と同様に目撃や声、足音の確認はありませんでした。調査にご参加いただいたみなさま、お疲れさまでした。（福島）



調査前の踏査ルートの確認

### 〇3月の植物

前日の雨も上がり澄み切った島の空気にクロモジの淡い黄色の花が気持ちよく迎えてくれました。ヤブツバキの花も格段にパワーアップしたようで、輝くような赤色で存在感たっぷりに島全体を彩っていました。アセビとコショウノキの花は、盛りは過ぎましたがまだまだ色褪せもせず咲いていました。地味に咲いていたのはヒサカキ、スギ、シキミ、頭上にはイヌシデ、アカシデがありました。満開のマメザクラは、よく青空に映えていまし

た。島が若葉でおおわれるのにはまだ早く、たっぷりの日差しが林床に届いていました。その日差しの中スミレ（タチツボスミレ、アカフタツボスミレ、ヒナスミレ、フモトスミレ）、ヒガンマムシグサ、シュンラン、ウグイスカグラ、モミジイチゴが咲いていました。コナラ伐採地ではリュウノウギクをはじめとする多数の草本類の芽生えが確認できました。ヤマユリは1本、膝ほどの丈になっていました。禁断の岬のがけ下の日陰では、1株のヒメフタバランが开花したばかりのようで花がみずみずしく見えました。

島は生き生きとしたエネルギーに満ち溢れ、春の力強さをいっぱい感じる事ができました。(秋元)



クロモジ



アセビ



ウグイスカグラ



ヒサカキ



林床を彩るヤブツバキの花



スギの雄花



ヤブツバキ



マメザクラ



モミジイチゴ



タチツボスミレ



アカフタツボスミレ



シキミ



ヒナスミレ (坂本)



ヒガンガンマムシグサ (坂本)



ヒメフタバラン (福島)



シュンラン(福島)



フモトスミレ



イヌシデ



コショウノキ



アカシデ

## ○移植のシキミに花

千年広場のポートが置いてある近くのシキミの木は人の背丈を超えるまでに生長して、初めて花が咲きました。花といっても目立つ色では無く、香りもありませんから気付かなかった人もいます。

私の記憶では、この木は中田家の長女の夏美さんがまだ小学校の高学年だった頃に広場近くでコナラの大木を切り倒した際、下敷きになった幼木が枯れてしまってはかわいそうだと引き抜いて今の場所に移植したものです。弟や妹も移植に手を貸していましたから、この木は中田家の方々を命の恩人と思っていることでしょう。(坂本)



シキミの花

## ○スミレのプリンセス

ヒナスミレの透明感ある淡紅紫色の花は楚々として魅力的です。スミレのプリンセスと称されるのも頷けます。豊英島を始め県内では元々数が少ない上、花期も短いので活動日に咲いている姿を見るチャンスは滅多にありません。今年はタイミング良く咲いていて幸運でした。スミレとしては早咲きの部類で、ソメイヨシノの蕾がほころぶ頃しか見られません。東京近郊でこのスミレを見たい方には高尾山がお勧めです。ここは豊英島より適地と見えて一株に10輪以上咲いているのも珍しくありません。今期に是非と思う方はお急ぎを。(坂本)



ヒナスミレ

## ○センサーカメラの動物

野良猫でしょうかタヌキより小型の動物が記録されました。鳥類では昨年記録されたトラツグミとヤマガラ、動画にはカラ類と思われる小鳥が記録されました。

昨年の秋以降の記録回数が少なくなっています。種類、回数ともに減っているようです。餌となるものが少なくなっているのでしょうか、ナラ枯れによる島の変化も関係しているのでしょうか、気がかりです。(秋元)

設置期間：1月15日から2月19日まで

※日数は確認した日数です。同じ日に複数回記録されても1日としています。

CAM1：吊橋着岸点付近

トラツグミ	1日	昼間	タヌキ	7日	夜間	ニホンジカ	2日	昼間・夜間
ニホンザル	1日	夜間	ネコ	2日	夜間	不明	3日	夜間

CAM2：ホテイ岬への分岐点付近

ニホンジカ	5日	昼間・夜間	ハクビシン	1日	夜間
-------	----	-------	-------	----	----

CAM3：ホテイ岬先端付近

ニホンジカ	1日	夜間	モズ?	1日	昼	不明(カラ類)	1日	昼間
-------	----	----	-----	----	---	---------	----	----



トラツグミ



ニホンジカ



タヌキ



ネコ

## ○ナラ枯れ枯死木伐採作業

今回もナラ枯れにより枯れたコナラを8本伐倒・玉切りしました。午前中は自分のチェーンソーを使いましたが、すぐに切れ味が悪くなり、切り屑も粉状になってしまいました。見かねた苅米さんが刃をヤスってくださいました。「堅い木の際は刃を鈍角にするといいよ。」ということで、ヤスって頂いた後は木に食い込むように切れ、切り屑は程よい大きさに。さすがです！

今回、作業中にヒヤリハットがありました。株立ちしたコナラを切るときのことです。2本に株立ちし、うち1本が途中さらに二股に分かれている樹でした。伐倒方向の関係から、まず二股に分かれている方から切ることにしました。受け口をつくり、追い口を切り進めた時に、切り口から水がチョロチョロとこぼれてきたのです。「あっまずい、思っていたよりも腐朽が進行していたのかっ！」と思い、一度、バーを抜いて様子を確認しながら、ゆっくりと再び切はじめると、1本と思っていた二股の片割れが、不意に私がいる方とは反対側に動き出し、そのまま幹の重心方向に倒れました。幹の動きに注視しながら切っていたので、幹が傾きだした際に離れることができ、また周りの人も十分に離れていたため誰もケガすることはありませんでした。

この原因は、「入り皮」を見逃していたことでした。2本に株立ちしていると思っていたコナラですが、実は3本の株立ちだったので、上の方でさらに二股に分かれていると思っていた方は、実は2本が成長の過程でくっつき1本の幹のように見えていたのです。そのため、私が“追い口（と意思）”を切り進めることで、実は1本の樹を“水平切り”のみで倒す形になっていたのです。

よくよく幹の下部を確認してみると、くっつきながら成長したシワがあることがわかりました。ただ、もともとの樹皮の様子とシワの区別はなかなか難しいなとも思いました。今後、広葉樹を切る際は、「入り皮」の確認、想定を心がけようと思いました。（成沢）



ロープをかけて伐倒方向を規制



つるの残し方、伐倒技術の検証



曲がりを考慮して高い位置で伐採



入り皮の状況



左が受け口、右が追い口

## さわやかな青空に恵まれ樹木の花やスミレの花々に出会い

このところ日曜日といえば 10 時集合の泉自然公園の野鳥観察会に出ているので豊英島の活動日もてっきり 10 時集合だと勝手に思い込んでしまい、30 分の遅刻。皆様にはたいへんなご迷惑をおかけしてしまいました。ダム管理ゲートの開閉の手間を考えて一度は参加を辞退したのですが、福島さんに背中を押されて参加させていただきました。シカの生息調査には間に合わず、午後からの伐倒作業も何も手伝うこともなく見学していて、「オレ何しにきたんだろう？」と自嘲するばかり。

雨上がりのさわやかな青空に恵まれ、樹木の花やスミレの花々に出会って参加して良かったです。とりわけ、シキミとクロモジの花はどちらも初めて見る花でした。ともにクリーム色のやわらかい色合いは、派手さはないものの印象に残りました。

先日、高尾山に行きハナネコノメやタカオスミレ、アオイスミレなどを見ってきましたがヒナスミレを見逃していたのが悔しかったところ、まさか豊英島でヒナスミレとフモトスミレに出合えるとは思いませんでした。秋元さんにくっついて行き、昨年に続きヒメフタバランを目にすることができたのも収穫でした。

シカ防除ネット内でスミレ類がたくさん咲いているのを見て、やはり防除対策の有効性と重要性を再認識しました。活動に参加された皆さん、お疲れさまでした。(清水)



ヒメフタバラン

### お知らせ

〇次回の定例活動は 4 月 16 日（日）です。

2023 年度 1 回目の活動ということで定時総会を予定しています。年間の活動計画、予算案等について検討を行いますので、会員のみなさまのご出席をお願いします。

なお、定時総会は会員の 3 分の 1 以上の出席が必要となることから、ご都合により出席できない方は委任状の提出をお願いします。委任状はメールで提出していただく予定ですが、詳しくは4月に入ってからメーリングリストでお知らせいたします。

集合場所、時間は通常どおり 9 時 30 分に清和自然休養村管理センターです。ヘルメットを忘れずに。